



第35回西高東京同窓会総会



**あけてみよう！
心のタイムカプセルを**

西高書道部

ごあいさつ

第35回旭川西高東京同窓会実行委員長

湯川 寛志 (34期)



旭川西高東京同窓会第35回総会は、17年ぶりに椿山荘にて開催の運びとなりました。

9期、14期、19期、24期、34期の各人が実行委員会を組織し、「あけてみよう！心のタイムカプセルを」メインテーマとして、自らの若かりし頃を思い起こしつつ、これからの社会を担う後輩たちの力になれる総会にしたいと、取り組んでまいりました。

私が初めて総会に参加したのは、ちょうど10年前、40歳の時でした。その時にお世話になった先輩たちとのご縁で今の自分があります。仕事での悩みや、普段、会社では相談できないような事も諸先輩方から戴く貴重なアドバイスで乗り切ってきたことも事実です。北海道に一度戻られ、また東京に復帰できたのも、東京で歓迎してくれる先輩方がおられたからです。このように、先輩方との触れ合いが、これからの人生の糧になることを、若い後輩諸君に伝えていければ、と思っています。神田川のほとり、遅咲きの桜匂う庭園を眺めつつ、さあ、それぞれの心のタイムカプセルを開けて見ることと致しましょう！皆様のご参加を、実行委員一同心からお待ちしております。

総会概要

平成29年4月8日(土)

受付：12:00～

開宴時間：13:00～15:00

会場：ホテル椿山荘東京
プラザ棟5階 オリオン
東京都文京区関口2-10-8

アクセス： 地下鉄有楽町線
「江戸川橋駅」徒歩約10分
 バス JR目白駅から「椿山荘行き」or
「新宿西口行き椿山荘前下車」

会費：一般会員 8,000円
40歳代 5,000円
20-30歳代 2,000円
現役学生 無料
*年会費として別途1,000円徴収

招待恩師：高橋昌久先生(保健・体育)
今 裕先生(社会)

第35回西高東京同窓会にむけて

旭川西高東京同窓会会長



荒川 繁

皆さんお元気ですか？ 毎度のことですが、1年は早いですね。年を重ねるほどの経つのはほとんど早くなるそうです。嫌ですね。先日、旭川へ行き西高校長室に初めて入りました。なぜか金縛り状態です。現役のころ校長室に入るときはお目玉ばかりでしたので、体が思い出したのでしょうか？ しかし今回は今井校長より、東京同窓会の皆様のサポートに感謝しておりますとの、熱いお言葉を頂き、初めて、校長室でお目玉をもらわずに済みました。具体的には、総会での、リンケージアワードをはじめとしたサポートと、11月2日に開催された、第4回鈴蘭塾の件で大変感謝しておられました。今回の鈴蘭塾は、12期の吉澤靖之さん（東京医科歯科大学長）の講演で、生徒たちに変化立つお話でしたとコメントも頂きました。是非継続して頂きたいのご依頼と、次期校長先生への引継ぎは必ず果たしますとのお約束も頂きました。現場と東京同窓会がコラボし続けることが、今は大切かと思えます。元氣な皆さんと総会で御会い出来ることを楽しみにしております。

旭川西高校校長



今井 悟

旭川西高東京同窓会の皆様には、日ごろから何かとご支援をいただき感謝申し上げます。平成28年度の本校の現状をお知らせいた

ます。

本校は、1学年普通科5学級、理科1学級、計6学級の学校規模であり、生徒は718名在籍しています。また、本校は文部科学省が取り組んでいる「スーパーサイエンスハイスクール」指定校として昨年度から2期目に入り新たな取り組みを行っています。特に今年度からは理数科だけではなく普通科にも事業を拡大しています。

生徒の進路状況については、昨春の卒業生236名のうち、75人が国立立大学に合格しました。部活動では今年度、吹奏楽部が高文連上川支部大会で最優秀となり、全道大会に出場しました。また、野球は春季と夏季に上川支部大会で優勝し、全道大会に出場（5季連続）しています。その他、陸上部の女子が円盤投げでインターハイに出場し、写真部員の作品が全国総合文化祭に出品されるなど、文武両道で頑張っています。

旭川西高校はこれからも同窓の皆様が築き上げられた良き伝統を受け継ぎ「研学、高邁、潑刺」の校訓のもと、「社会に自ら寄与できる人の育成」を目指してまいりますので、一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

旭川西高校同窓会長



高野 正夫

親愛なる旭川西高東京同窓会の皆様 第35回同窓会誠におめでとうございます。

昨年、懐かしの上野不忍の池「東天紅」、今回は、「椿山荘」。旭川に居ますと仲々行けない所で開催する東京の皆様のパワーに驚かされます。

本校も開校110周年を迎えます。開催日は現在の処 未だ決めておりませんが平成29年9月中旬となりそうです。

学校の先生方が主導となりPTA、同窓会（小林茂副会長と私）が協議を重ねております。式典は学校にて挙行し、同日 祝賀会は同窓会交流会と併合して行いますので道外特に東京の皆様には多くの出席をいただければ幸いです。

春が早く来てくれればと願っております。そして四月椿山荘へお伺いいたし、沢山の友人とお会いしたいと思っております。

招待恩師から



恩師 高橋 昌久

（昭和28年4月）昭和42年3月、27年10月末、子供達の住む武蔵小杉に来ました。昨年4月には上野での東京同窓会総会に参加させて頂き、懐かしい人々に出会う事ができました。また、担任をした16期の同期会にも同席し交流を楽しみました。

帰途、故郷も離れての同窓会、学旅行は、言い古された言葉ながら、大きな「冥途の土産」を頂いたと胸が熱くなりました。



恩師 今 裕

（昭和57年4月）平成18年3月、平成11年3月、2度目の「春高バレー」出場の際に招かれて選手共々盛大な歓迎を受け、会場の熱気溢れる光景に圧倒され「伝統ある西高」を東京の地で実感しました。代々木体育館での選手達の雄姿と、初めての「同窓会」は今も鮮明に蘇ります。2回目は、平成19年3月第25回記念総会の新企画「名物先生ご招待」で招かれ「私でいいのだろうか」との思いは暫く続いたが「光栄なこと」と受け止めました。余興の「ジャンケン大会」は圧巻でした。会場を一気に沸騰させ、数人での最後の決戦はステージ上でした。なんとその中にわたしもいました。総会終了後の「同期会」(14期)は、屋形船での隅田川遊覧で、また格別の思い出となりました。

…元気で長生き!…

黒豆ポリフェノール飲料

高濃度微顆粒

クロマゲン600

Kuromagen Polyphenol Powder

第七期生 **菊池 幸**

菊池食品工業株式会社 代表取締役社長

本社: 東京都板橋区大山東町9-9
フリーダイヤル 0120-028-960
マメニハ クロマゲ

デレッキ13

東京13期有志

ポールスター楽団 会員募集中 あなたも参加しませんか

別荘40周年記念祝賀会

ポールスター演奏 2007.10.27 旭川グランドホテル

段ボールは21世紀の理想的な資材です

株式会社 **片桐紙器**

本社 〒078-8272 旭川市工業団地2条2丁目2番地6号
TEL. 0166-36-4585 FAX. 0166-36-4466
紋別段ボール工場 〒094-0023 紋別市元紋別678番地19
TEL. 0158-24-2358 FAX. 0158-24-2706

神田川のほとり 目白台に建つ椿山荘

名曲「神田川」に乗って「寸劇の競演」を楽しむ

今年で35回となるメモリアル総会は椿山荘で！ 今も、昔と変わらず窓の下には神田川が流れています。この日一日は、心のタイムカプセルを「神田川」の音色と映像に包まれながら思い起こしましょう・・・。

まだ雪が残る故郷の旭川から東京へ・・・これから何かが始まる淡い期待と言い知れぬ不安感の中で、それが都会生活の始まりでした。誰もが持つ大切に懐かしいあの頃の日々、少しほろ苦くとても愛おしい時でした・・・。そして毎日は、何もなくてもただ楽しくかけがえのない時でした。

その頃は夢舞台であったこの椿山荘で、その頃を思い起こしましょう！

「神田川」を演じる

イベントは全員参加の「神田川」の寸劇で各組の競演です。演じるのは“横町の風呂屋から出たシーン”と“三畳一間のシーン”などで、各組「神田川」合唱の中、当時は彷彿とさせる熱演を期待しています。各組の競演終了後、演技と合唱を公平ならびに厳正なる審査により最優秀組を表彰します。

※最優秀賞金のため受付時に一人100円を徴収させていただきます。



◀ 三畳間



▼ 風呂屋

神田川「神田上水」遺跡と椿山荘庭園散策

- ・4月8日(土) 午前11時 江戸川橋上集合
- ・地下鉄有楽町線「江戸川橋」下車<1a出口すぐ>
- ・所用時間約70分

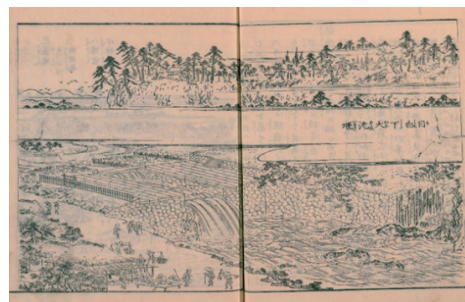
春うららのなか、神田川ほとりを歩きます。

神田川(江戸川橋上流)はサクラの名所。満開のサクラは過ぎていますが遅咲きの桜は見られます。散策はまず下の左図の大洗堰のあった所を目指します。

神田上水はいつできたか定かではありませんが神田川下流の水戸藩上屋敷(現小石川後樂園)に上水が引かれたのは寛永6年(1629)という記録があるのでそれ以前にできたことになります。江戸の人口が増え始めた寛永年間に上水道が必要となり、日本最古の都市水道神田上水の大洗堰が設けられました。

大洗堰で取水された上水は小石川の水戸藩上屋敷を経て、水道橋下流の懸樋を通り、神田一帯や江戸城、京橋、日本橋方面に給水されました。

右下の図は歌川広重の『江戸名所百景』の1枚「せき口上水端はせを庵椿やま」です。安政4年(1857)の丁度椿山荘の崖下の景色です。私たち一行はこの絵の右下当たりから冠木門を通り、椿山荘の庭園へと入ってゆきます。椿と遅咲きの桜を愛でながら庭園を一周し総会会場に向かいます。



◀ 目白大洗堰

▼ 歌川広重・画



「タイムカプセル」を旭川西高在校生へ

旭川西高OG、OBから在校生へメッセージを送りましょう。今だから言えるひと言を・・・。

メッセージカードは受付時にお渡しします、カードの内容は自由です。

きっと在校生に勇気を与えるでしょう・・・。

カード投入されたタイムカプセルは、校長先生にお渡しします。



郷土北海道の絆！信用と信頼！
移住(Uターン)、不動産管理・相続・売買
等もお気軽に御相談下さい。イワクラホームは
伊藤忠商事とイワクラGの出資会社です。

イワクラホーム

検索

イワクラホーム株式会社

社長 佐々木 与三郎(西高の絆:第14期)

愛心メモリアル病院

愛心補脳器クリニック

愛心内科消化器科クリニック

医療法人社団

愛心館グループ

訪問看護ステーションあしん

介護支援ステーションあしん

介護老人保健施設フラットホーム

栄夢ライオン訪問看護ステーション

栄夢ライオン看護婦所介護事業所

恵地介護支援事業所相談センターレイル

医療法人社団愛心館

理事長 高橋 順一郎(14期)

011-752-3535

<http://www.aishinkan.jp>

(西高生活思い出を語ろう)

1期 伊藤 孝子
私は昭和20年市立立女学校入学、その年終戦。それから道立立女学校、学制改革で東西北高となり、最後の1年が男女共学の西高を卒業致しました。思い出も薄らいで来ておりますが、それ迄は男女席を同じうせずで育ちましたのが急に共学、それが何の問題もなく、今思い出しますに男性は数学、英語のレベルが私達より上でした。非常に変化があつて進歩的な学舎だつたとおもいます。
同期会も毎年開催されて居ります。西高時代を楽しく思い出します。

4期 谷口 光洋
1951(昭和26)年4月に、旭川聖園中学校から、学区制で旭西高を受験し、無事合格・入学しました。当時、旭西高は、5条4丁目、現在の成田山眞久寺の道路を挟んで向かいにありましたが、今や、聖園中学校は廃校となり、旭西高も、川端町に移つてしまひ、大変淋しい思い出をして居ります。

添付の写真は、3年Eクラスで、文化祭の時、神武天皇の神輿を作つて、学校の周辺から平和通り迄、担ぎ回つた時の旭西高東玄関前での記念写真です。



在学中の思い出

7期 白石 武昌
1957年に卒業して早や60年：

矢張り部活。私は生物部だつた。

1年時は焼尻島、2年時は屈斜路湖・知床・羅臼、3年時には朱鞆内湖で観察や植物採集の研究旅行に行き、恩田先生や1期の江口さんなどから多くの薫陶を受けた。初めての「研究論文」執筆。このことがまさかその後の長い研究生活の契機になるとは、その時は知ることもなかった。3年時には請われて生徒会長を仰せつかつた。思えば愉しい時間であつた。



9期 堀田 昌伸
3年間、新聞部員で青春を謳歌した。年4回発行の「旭川西高新聞」はいつも締切日に追われ、徹夜での編集も多々あつた。当時、創立50周年記念式典に巡り会い「創立記念号」を発行した。又運動部の全道大会出場での同行取材など懐かしい思い出だ。

あの狭い部室を根城にして切磋琢磨した仲間とは、今でも交流を深めている。自慢話をひとつ。3年時での発行紙は、道新主催「全道高校新聞コンクール」で2位に入賞した。私たちが力をあわせて勝ち取つた勲章だ。

三年春秋

10期 森 真弓
高校3年間は人生最良・至福の時だつたような、鬱々としていたような・季節です。授業時間はいつも下を向き静かに潜行しつつも先生の癖を探したり、

休み時間の楽しさは一体なんだつたのだろう。いま全て記憶の彼方なのに、あのキヤキヤした輝き空気は、確かに胸の奥にあつて嬉しい。来予想像もできなかつた喜寿、皆で集まつて思い出話がしたい。(鬼が笑うか?)

「三年春秋」そして今想うこと。

12期 田島 慎二
70余年の馬齢を重ね当時を想うこと。入学時の校歌：高邁驕らず。わが蘊む叡智……。試験後のマイム・マイム。夜を徹しての行灯造り。自由闊達な文化祭の様々なイベント。そしてその時代に金科玉条を尊ぶなか、未だに誇りに思ふ私服での通学。連綿として、枚挙にいとまがない。

ついで先日、恩師平田鳥閑(善次郎)先生と悪友(もちろん12期の連中)と焼き肉を囲み、当時流行つた「ダイアナ」を聞きながら時を誤り、あまり永くない将来を語り、：：：そして次回の再会を確かめあつた。

忘れられない友

14期 梅原 滯
2年生の冬(12月1日)不慮のスキー事故で尊い命を失つた岩佐昌君を覚えていますか? 大会前日の早朝一人で練習中、夜中から降つた雪で隠れた岩に激突したためでした。亡くなる前日の夕方、彼から家に遊びに来ないかと電話があり、彼のお母さんと3人で菓子を頂きながら楽しく談笑したのが、彼との最後の別れとなつてしまつた。時々彼のいた家の前を通る時、人なつっこい彼の笑顔が思い出される。

15期生として入学

15期 塩尻 伸司
昭和37年に入学したところ、西高は木造の校舎でした。冬になると石炭ストーブでの暖房でしたが午後になると石炭がなくなつてきました。厳寒の時は石炭の追加はありましたが普段はないので寒かつたものです。学校祭の時の万灯行列が終わると万灯を解体し普通廃棄しますが、クラスで決めこれを捨てずに教室の天井の点検口から天井裏に垂木等の木材を仕舞い込み冬に備えました。現在では考えられないことですが、これも今となっては思い出の一つです。



亡き「末岡」氏を偲ぶ

19期 高桑 親
高校3年生の、夏休に入る前の土曜日の放課後のことです。末岡氏が旭川駅前で南高生と揉めていると西高の仲間と連絡が入り、学校に残つていた5人で旭川駅前へ駆けつけました。駅前では15、16人位の学生服姿の人だかりが出来ていて、末岡氏が啖阿を切つていました。

その時、道北バスが駅前到着。学生服姿の南高生が続々と下車して、周りは修学旅行出発前の如く南高生で溢れてました。駅前交番の警察が異常を察知し動

わが三年春秋



21期 村田 聡
 高校時代の思い出といえば、部活。授業中は寝ていたのか、余り思い出せない。47年も前のこと、当たり前か。

20期 荒 富夫
 昭和42年4月8日、新入生で入学式に参列した。それから8ヶ月後に1年生ながら大胆にも生徒会長に立候補していた。その時の選挙公約が「クラブ活動活性化のため1ヶ月50円の生徒会費値上げ」であった。選挙公約には馴染まない無謀な公約であったにも関わらず私に322票の投票があった。(投票総数1516票、うち、有効投票1086票、浅川和幸氏764票)こんな私に321名の皆様が投票していただいたことに感謝しています。

三年春秋

き始めたので、今日は止める様に話し合いが纏まりました。私は興奮が抑えきれず友達達の所へ行くと、其処に東京から漫画家の人が来ていて、私の話を聞いてくれました。
 それから忘れたころ友達から連絡が入り、東京の漫画家の人から私の話が「週刊少年ジャンプ」に連載が決まった旨、知らせがありました。
 題名は「男一匹ガキ大将」。私は大変驚き、早速、本屋へ走りました。

36期 西 俊輔
 平成28年の第66回旭川同窓会総会で実行委員を務めました西でございます。その節はご支援を戴き、ありがとうございました。
 卒業してもう30年になりますが、今の自分と西高生だった当時とで中身はさほど変わっていないように思いますが、皆様は如何ですか？決して華やかとは言えない、どちらかというと地味な高校生活でしたが(笑)、今振り返れば、二度と戻れない貴重な3年間だったと、つくづく思います。

三年春秋

27期 富塚 真樹子
 高校時代といえば毎日の自動車通学。田舎ゆえちよどよい時間に自動車はなく、朝6時半前には家を出る生活でした。同じ自動車仲間とは朝は宿題か睡眠、帰りはおしゃべり3年間ほぼ一緒でした。夏休みには旅行にも行きました。今考えるとネットもスマホもない時代に誰が調べたのか牧場やお寺に泊まる節約旅行。観光した覚えもなく、ただただくだらないことで笑い転げていた気がします。
 箸が転がっても可笑しい年頃って本当にあったのです。

三年春秋

中学で軟式テニスをしていたので、そのままテニス部へ。しかし、テニスエルボーで断念。スキー部に転部。理科大出のバリバリの森浦先生に教えを受け、夏は石狩川の土手を走り回り、高原温泉で合宿。常盤公園での柔軟中の突然の落ち葉に、秋を感じ。サンバレー、比布スキー場でのポール練習。北の峰での高体連、十勝岳での森浦杯。
 思い出は、スキー部だ！

「西高生の今」

生徒会長 大川 咲来



周辺の高校よりもひととき綺麗な旭川西高校。ここが北海道と思えないほど、夏も冬も暖かいこの校舎で、私たちは日々学業に励んでいます。昨年、文部科学省よりスーパーサイエンスハイスクール2期目の指定を受けた西高は、新たな取り組みとして、理数科の生徒だけでなく普通科の生徒もSSH事業に参加出来るようになりました。例えば、学校指定科目として、1年生は探求基礎、2年生は課題探求が、私たちの代から普通科にも導入されました。探求活動を通して私たちは、仮説を立てて検証し、結果から次の仮説を立てるとい、21世紀に必要な能力を学びます。特に2年生の課題探求では、自分たちの興味のある分野のなかで班を構成し探求するので、班員みんなで協力して自由な活動をすることが出来ます。
 普段の学習では、今の西高はアクティブラーニング方式が広く取り入れられており、与えられた問題についてグループで話し合い解決していくような学習が多くなっています。この方式は、グループ内で意見を伝えたり聞いたりする力や意見をまとめる力がつき、従来の講義型授業と

上手く組み合わせることで、私たちは、先生の話や聞く時間と自由に見交流をする時間のメリハリをつけて、より集中して授業に取り組みむことが出来ます。
 西高では、普段の授業以外の時間にも学習室や講義室等の空き教室を利用して自習に励んでいる生徒の姿が数多く見受けられます。その原動力の一つには、以前の卒業生である先輩方の国立大合格者100人を超えるという快挙があり、私たちはそんな先輩方を超えようと勉強に励んでいます。
 私たちは学習面だけでなく部活動も頑張っています。最近では特に、全道大会出場を果たした野球部、「水のスカート」という作品で全国最優秀賞を取った写真部、書の甲子園とも呼ばれる大会で全国優勝を果たした書道部が、その活躍とともに有名になりました。中でも書道部は、日本一になったことでテレビの取材が来るなど、その名を北海道のみならず全国に轟かせました。こうした目覚ましい成果を多く挙げる西高ですが、どの部活も現状に満足することなく、今よりも高みを目指して日々精進しています。
 私はこの西高で貴重な青春時代を過ごせることを、とても幸せに思います。卒業して、いつかこの学校の思い出話をする時が楽しみです。
西高最高！



母校訪問記—西高祭

18期 五十嵐 裕

2016年7月10日、旭川西高等学校の「第67回西高祭」を訪れました。

18期の菊田さんからこの日に西高祭の一般公開があることを知らされ、菊田さん、大西さんと共に、移転後の新校舎を訪れました。移転先訪問は私にとって初めてのことで、第一印象はずいぶん立派な設備を備えた綺麗な校舎であること、我々が学んでいたときの校舎とは大変な違いがあることが一目瞭然でした。聞けば移転した時の校舎を



近年、建て直して間もないとのことでした。今の生徒は幸せだなとやや羨ましく感じました。我々の時代は10月か11月のころに文化祭を挙行していましたが、何故、この時期なのかと尋ねたところ、共通試験の受験準備があるため、今はこの高校もこの時期に学校祭をやっているとのことでした。グループ別の展示を見て回ると、昭和時代の様子を新聞の切り抜きや写真等で詳しく表現している、「昭和の世界」、ヒトラーが率いたナチスドイツの出現からユダヤ人虐殺、敗戦までを描いた「ナチスドイツの世界」、マイクロプラス

チックが魚類の生態に与える悪影響や海洋の環境問題を説いた「この海の世界誰のもの？」等々、なつかしかったり、問題をよく掘り下げていて共感を覚えたりで、真面目な取り組みに感心しました。校長室で今井悟校長先生に最近



の西高のお話しを伺うことが出来ました。文化系、体育系の部活動に積極的に関わり、現在は90%以上の生徒が加入しており、部活動へ熱心に取り組む生徒が増えるに従って、大学への進学率も向上しているとのことでした。書道部の「書の甲子園」での優勝は、広く知られていますが、野球も多くの大会で好成績を残し、いくつもの優勝旗が校長室に飾られています。甲子園出場も近い将来、あ

るのではないかと期待されています。ステージ発表の部では、演奏演劇等の上演の他にダンスコンテストがあり、見物に行きました。ところがアクションのスピードと激しさに圧倒されて、世代の違いを痛感させられ、ショックを受けました。展示会場、ステージ、模擬店、案内の各所で男子生徒よりも女子生徒の活躍が目立ちました。「1億総活躍社会」での女性の活躍を先取りしているとも思いましたが、我々18期の中でも女性が活躍していることを思い併せ

第4回鈴蘭塾開催される

20期 荒川 繁(記)

去る11月2日午後、旭川西高の講堂に在校生全員が集まり、12期吉澤靖之さん(東京医科大学歯科大学長)を講師に招き第4回鈴蘭塾が開催されました。

《前向くヒトの失敗は

そのヒトを育てる》

私は失敗ばかり

何故、今学長か!!

と言う演題で、吉澤学長は、ご自身が歩んで来られた今日までの人生を、出身地である比布で過ごした小中時代、そしてわが母校西高時代、東京での浪人・医科歯科大学時代・勤務医時代・米国立留学・筑波・そして東京復帰までを時系列に沿って、その時折のご自身の思い、状況、決意、感動、等スライドを使用しながら詳しくお話になりました。

吉澤学長の生きざまそのものを生徒は食い入るように聞いていました。続いて医科歯科大の過去、現在、未来について紹介し、西高生に対して望むこととして、人間性・教養・感性・基礎学力・語学・国際性・広い視野・チャレンジ精神・自己解決型の人間となる努力・長いスパンと積極思考などの話をされました。締めくくりに、ご自身のモットー

「己を知れば邪心なし、

積極思考で全力を尽くす」

というお話をなして在校生の未来にエールをおくりお話を終えられました。

四の五のうるせえ 伍四人。

覗いてみてね! <http://www.anktd.com>

衆議院議員 **今津 寛** (一五期)

国会事務所
〒100-0001 東京都千代田区永田町二丁目一
衆議院第一議員会館三三三号室
03-3350-6172 04

旭川事務所
〒070-0339
旭川市九条通九丁目五三三三〇
0166-122-6818

RUBBER SOUL master
久保村 正規
Masaki Kubomura

〒070-0034
旭川市4条通7丁目つづじプラザビル地下1階
TEL&FAX 0166-21-4567
E-mail: rubber-s@beige.plala.or.jp

東京浅草 お参りやすい
永代供養墓
真宗大谷派 勝龍山 等覚寺
東京都台東区元浅草2-10-17
03-3841-2844

浅草 永代供養墓 検索

荒川 繁 (20期) 在住のお寺

ハケ缶で出せる おしゃれな一品 デザイン工房
LED おかり、時計、家具、器、ガラス、花器、湧水オブジェ、他

手づくり工房 & ギャラリー

ホームページをご覧下さい

20期 松田 広昭
TEL 090-4028-5241
E-mail: matsuda@za3.so-net.ne.jp
URL: <http://www.design-subaru.com>
山形県北村市大泉町西井出 8240-1

●中央高速 長坂インターから清里方面 約10分 甲斐大泉駅下車
●中央線 小淵沢から小海線二つ目 甲斐大泉駅 徒歩1分

小林 設計

代表 **小林 達夫**

小林 設計 一級建築士事務所
〒150-0011
東京都渋谷区東3-25-3 ライオンズプラザ恵比寿1005
TEL. 03-5469-3187 FAX. 03-5469-3188
E-mail: kob@polka.plala.or.jp

旭川今昔

14期 五十嵐 章

〓 研学いそしむ殿堂あり

白亜醒し 堅忍揺るがず

高邁驕らず 三年春秋

最初はなんとこむずかしい歌詞であることか、何言っているかわからぬ！よ、などと思っていた校歌が、しばらくするとなんてかっこいい歌詞なんだと大転換。西高卒業生の多くの人がこの校歌を今でもすきだという。かつて街の中心部、5条4丁目にあった、旭川西高が川端町に移転してからすでに45年もたつてはいるが、その前に卒業した私にとって、西高は今でも変わらず5条4丁目存在するもののように思えてならない。

現在、西高の跡には、旭川ときわ市民ホールという建物が建っている。研修室、趣味教室、調理実習室などを備え、絵画教室、合唱練習、各種会議など、さまざまな市民団体にとって貴重な施設となっている。

かつての西高を思い出すよすがとしては、大きなマンションになったり、個人住宅になっていたりするよりはましと言えるかもしれない。さらには、西高の向かい側に並んでいた大休寺、真久寺などの



いわき市民ホール



5条4丁目旧校舎

お寺さんは健在だし、3丁目寄りの角にあった交番は、改築して今も同じ場所で見らなみをかかせていることも付け加えておく必要がある。

そしてまた大きく変わったもののひとつとして、旭川駅とその周辺をあげなければならぬ。平成23年11月に新築になって、旭川駅が開業した。以前の駅より80m程後退して駅前広場がずいぶん広くなり、夏にはオーブン・ビアガーデンとなって賑わっている。

また、駅に直結して巨大なイオンSCがオープン。まあそのせいでもよいと思うが、昨年9月末で西武デパートが撤退、道北地区にデパートが1軒も無くなってしまった。駅の裏はご存知のとおり忠別川の河原であるが、東方向に大きく広がっていた保線区などの敷地は、北彩都地区と命名され、一部は民間に払い下げられてマンションやホテル、病院などが建てられている。また、かなりの部分は公園となって整備の途中である。



現旭川駅舎

中小地方都市がかかえる多くの問題を、旭川も共有している。未来への心配は尽きないのではあるけれど、何はともあれ校歌にもあるとおり、大雪や十勝の峰の雪や、石狩や忠別の淀の鏡や、広く広くはてしない空、など、素晴らしい旭川の自然ばかりは、今も昔も変わることもなく私達を癒してくれるのだ。

「51年目の修学旅行」

16期 鈴木 雅喜

2012年9月に北海道在住組と本州在住組の16期同期会が層雲峡で開催されました。その時、1964年東京オリンピック開催中に我々の修学旅行が実施された事もあり西高卒業50周年で本州方面の修学旅行を企画したいという話が出ました。

旭川では中塚さん、大高さん、東京では竹澤さんらが中心となり企画立案され昨年の10月23日から3日間で実施の運びとなりました。行先は伊豆、箱根、富士五湖巡りと、最終日、東京は何十年ぶりと言う方のために、はとバス観光です。

参加者は北海道から23名、道外から40名で何と63名の参加となりました。恩師の高橋昌久先生夫妻も2日目から参加されました。

第1日目は12時30分に羽田空港ロビーで集合し旭川・札幌・女満別、長崎方面から懐かしい顔や卒業アルバムで顔を確かめる人で大忙しの出迎えとなりました。

羽田空港から貸し切りバスに乗りいよいよ51年目の修学旅行の出発です。

バスの後部はサロン座席になっており直ぐに懐かしい同期生との祝杯が始まりました。バスにトイレ設備が無い為、海老名SA近くでは皆さん冷や汗ものでした。

熱海海岸経由で夕方にはホテルサンバレー伊豆長岡到着、支配人の同期生の柴田さんが出迎えてくれました。早速、各部屋へ別れ、入浴後お待ちかねの大宴会の時間

です。黙祷の後、小田島さんによる乾杯で宴が始まりました。

自己紹介から始まりそれぞれ同級生やクラブの仲間との懐かしい歓談で盛り上がりました。

じゃんけん大会やスライドショーの後、校歌斉唱で一次会が終わり、二次会のカラオケ大会。皆さんマイクを握るとプロ並みの歌が続き気付けばもう24時。「高校三年生」を歌い散会です。

第2日目は箱根、ガラスの森美術館、本栖湖、忍野八海から河口湖経由で中央高速に乗り一路今晩の宿泊先である「両国第一ホテル東京」へ向かいました。

今晩はホテルの近くのちゃんこ料理店「江戸沢」です。恩師の高橋先生夫妻はこちらからご参加頂きました。

此方の会場には何と58名が参加し多少すし詰め状態でしたが、何十年ぶりに会う級友で笑いや歓談が続ぎ大盛況で終えました。

二次会は喫茶店組とカラオケ組に分かれ楽しいひと時を過ごしました。

最終日は、東京都内見物で高橋先生夫妻と25名の参加、東京駅丸の内から出発、皇居、銀座、と周り東京タワーでは展望台まで登り皆さん高校生時代に遊っていました。

我々、今年70歳を迎えますが51年目の修学旅行を経験し感慨深い思い出が残った事と思います。幹事さん本当にお疲れ様でした。皆様の健康をお祈りします。



北海道から世界に伝えます
日本の心・日本の味

木綿屋男山本家
男山株式会社

北海道旭川市永山2条7丁目 TEL 0166-48-1931
http://www.otokoyama.com/

uni.plan
ユニバーサルプランニング株式会社

小林 信雄 (21期)

〒171-0033 東京都豊島区高田3-31-5
TEL.03-3984-4405 (建築部) TEL.03-3980-6200 (土木部)
FAX.03-3984-4415 E-mail:kobayashi.n@uni-plan.co.jp

花惜記

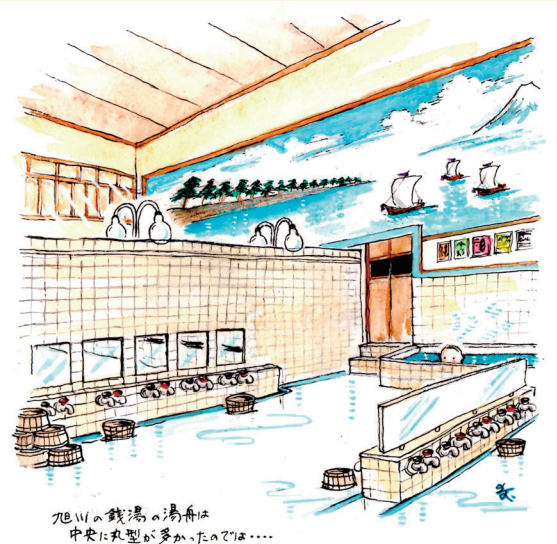
三期生 大内秀夫(画)

もう二度と逢えないことはわかっている。花散る道でふと立ち止まる

あれは、東京の旭川西高同窓会が発足して間もない頃、帰り道が一緒だった後輩のS君が「先輩に会いたがっている後輩がいます」と誘われ、初めて君の店へ寄った。傍らを流れる野川に、桜の花びらが一杯だったから春だったのか……。

旭川西高時代、女子バレーのエアスタッカーで男子生徒のマドンナだったとS君の話。勿論ボクは、西高で七期も後輩のマドンナを知る由もないが、話している内に、旭川で君のお父さんと子どもころのボクが、偶然逢っていた事を知り、びびく

その話とは……ボクは幾つだったのか。夕餉前、いつものように親父に連れられ銭湯へ行った。四条六丁目にあった東湯。浴槽の壁に三保の松原、帆掛け船のペンキ画。蛇口の上の天窓から夕日が差し込む。ロッカーはまだ無く脱衣場は竹籠。湯上りのボクは走り廻って竹籠をひっくり返したという。親父は着物を入



旭川の銭湯の湯舟は中央に丸型が多かたのでは……

れ直し、猿股をはき浴衣を着たらまた底から猿股が出てきた。アレれと思っていたら、湯上りの隣の人が裸で籠の中を捜している。親父は隣の人の猿股をはいでしまったのだ。やあやあと詫びて、はいでいた猿股を脱いで返すと、その人もやあやあと笑いながら返された猿股をはいで帰ったという。鼻下に美髭を蓄えた七条十丁目にあった消防署の人と親父は話していた。番台の姐さんが落っこちそうに笑っていたとか……。

それ以来、その人はボクにも声をかけてくれ、それが君のお父さんだったとは……。

女家族でお父さん大好きだったという君。ボクの君を呼ぶ呼び方が、旭川訛りのお父さんを想い出す、と嬉しがられ、以来、友にはひんしゆくを買ったが、君を呼び捨てで呼んだ。しかしボクは、自分の親父の声を彼女ほど覚えていないのに愕然とした。

「ま、いいか」が口癖のさっぱりとした君の人は、西高の同窓ばかりではなく、生まれも育ちも職業も、いや国籍さえも関係なく、北国の酒、家庭料理で一緒になつて和気あいあい。彼女手造りの「いし鱈」、かすべは懐かしく絶品だった。現在活躍の西高ポールスター楽団が誕生したのも、この店の狭いカウンターからだった。また、客同士がチームを組み、ソフトボール大会に出たり、XMASパーティー、忘新年会、お花見と、ボクは秘かに「多国籍の会」と呼んだ。

その花見の会。例年のように最後にみんなで記念写真をと並んだら、離れたところから君がすうつとボクの隣へ来て、めずらしくボクの腕に腕を回しほほ笑んだ。思えば、あれが別れだった。君が、病で急逝、と哀惜の知らせを受けたのは、翌年の春まだ浅い、花咲く前だった。

もうお父さんと、あの銭湯の話したかい？ お父さん覚えていたかい？ 最後にもう一度呼ばせておくれ、君の大好きだったお父さんの旭川訛りの呼ぶ声でアリガトネ、ミチコ。シタラネ……

平成27年度旭川西高東京同窓会会計報告

(平成27年5月1日～平成28年4月30日) 平成28年6月1日

収入の部	実算	前年実算	前年比%	備考
・前年度繰越金	3,052,137	2,402,229		
・年会費	623,000	715,000	87	
当日分	(266,000)	(281,000)		
振込分	(357,000)	(434,000)		
・その他	433,848	300,301		
総会剰余金	(371,288)	(259,300)		
雑収入	(62,560)	(41,001)		
・広告代	—	347,000		広告代は実行委
計	4,108,985	3,764,530		
支出の部	実算	前年実算	前年比%	備考
・総会費	219,644	80,000	275	
・西高通信他送料	125,140	122,006	103	通信の制作は実行委
・通信費	21,742	36,075	60	
・印刷・事務用品費	38,862	15,527	250	
・会議費	107,000	101,900	105	
・ウェブサイト維持費	352,137	120,000	293	外注化
・慶弔費	20,000	20,000	100	
・雑費	52,591	2,397	2194	
・その他	—	214,488		西高通信製作費
計	937,116	712,393		
残高	3,171,869	3,052,137		

監査報告
会計報告は、証憑書類と照合・精査の結果、正確なことを確認致しました。
旭川西高東京同窓会
監事 大西 登喜雄 (18期)

第34回総会を顧みて

第34回総会実行委員長 前田 彰一(13期)



約20年ぶりに上野で開催されました。340余名が集い、桜の名が集いながら春宵のひと時を楽しみました。「西高通信」では、桜花会や卒業1、2期生の諸先輩OGも寄稿、東京に来た頃の思い出を語っていただきました。懇親会では「映像と音楽で語る青春の思い出」として、参加者の高校生活を思い出す、数々の懐かしい写真が映し出されました。「書の甲子園」といわれる「第24回国際高校生選抜書展」で西高書道部が全国制覇するという快挙があり、個人の部で文部大臣賞を受賞した井上遥さんも参加して特別賞の表彰式がありました。また、旭川西高生からビデオメッセージ

が届けました。自由な校風を継承し、のびのび過ごす現役の高校生との映像は圧巻でした。これからは母校との絆を大切に、旭川西高を応援していきたいと思えます。西高通信に寄稿・広告協賛していただきました皆様、またご協力いただきました執行部および実行委員会の皆様に心より御礼申し上げます。

